

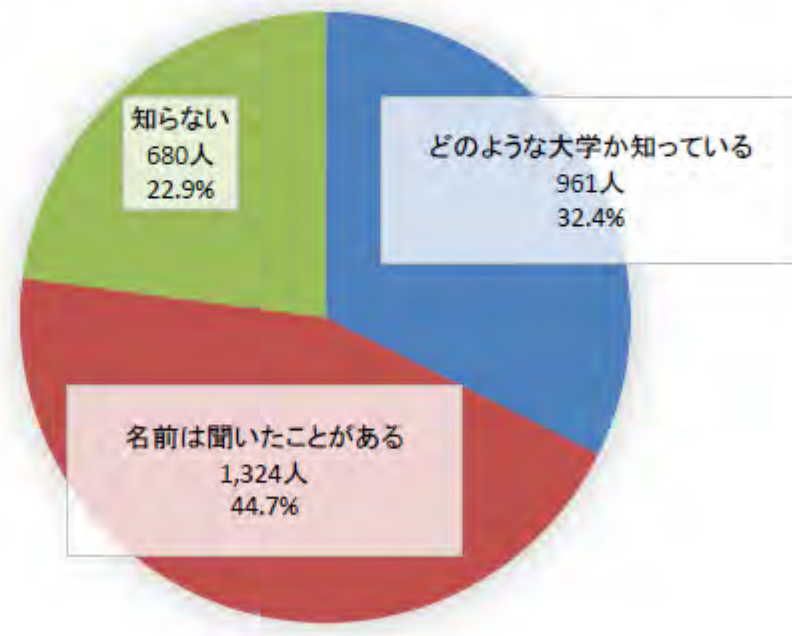
(項番は最終報告書に対応)

項目	ページ
4 沖縄の振興及び自立的発展への貢献に関する評価	52
・知的財産と研究	53
・共同研究	54
・共同研究・受託研究・特許の推移	55
・POC研究プログラム	56
・POCプロジェクト一覧	57
・スタートアップ・アクセラレータープログラム	58
・OIST発ベンチャー企業の事例 ①沖縄プロテイントモグラフィー(株)	59
・OIST発ベンチャー企業の事例 ②BioAlchemy(株)	60
・技術開発イノベーションセンターが獲得した外部資金	61
・技術開発イノベーションセンターにおけるミッション	62
・技術移転のライフサイクル	63
・技術開発イノベーションセンターの組織図	65
・インキュベーター施設の概要	66

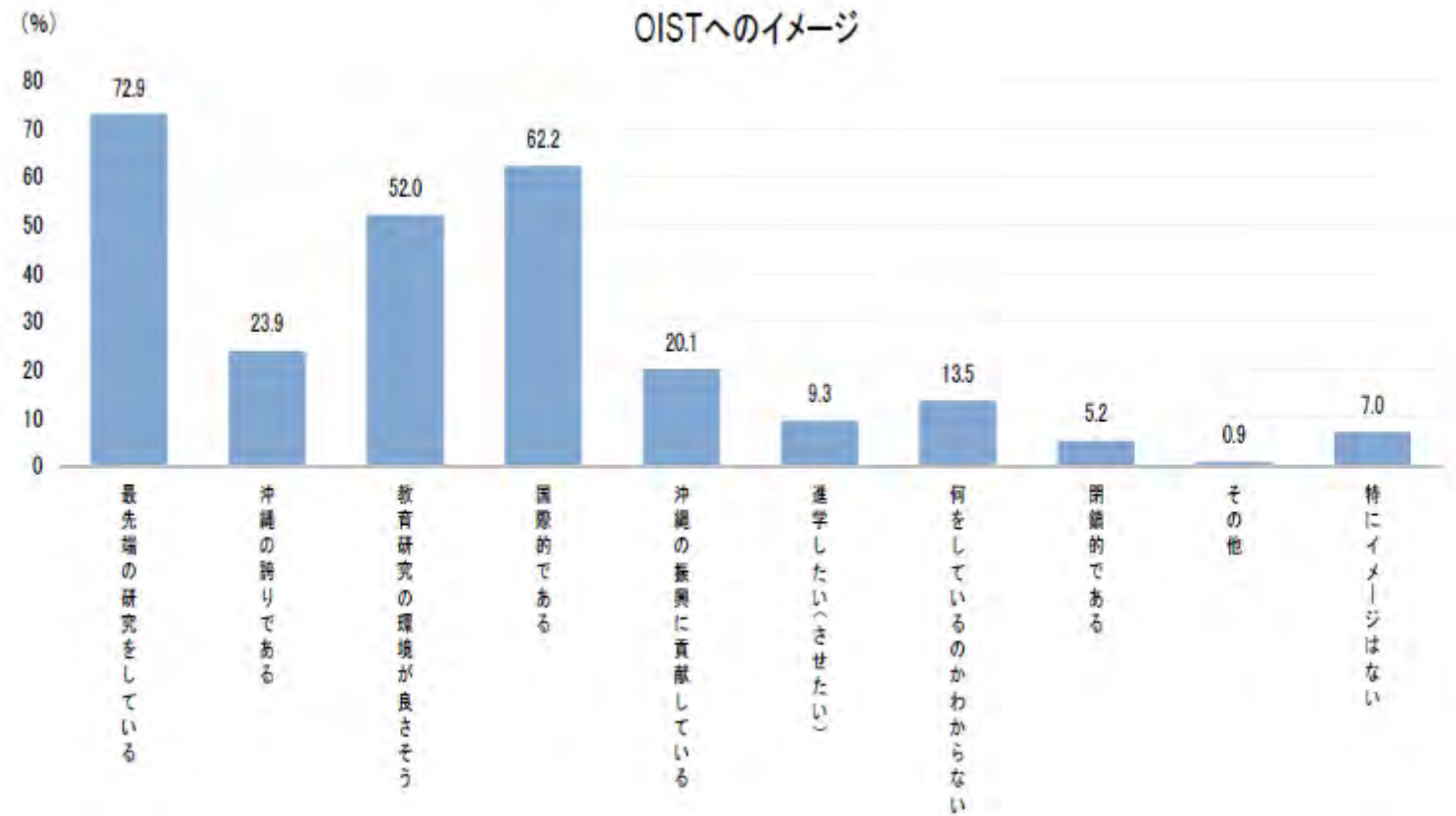
項目	ページ
5 広報、情報公開、その他法令遵守等に関する評価	67
・沖縄県民を対象としたOISTの認知度に関する調査	68
・OISTの地域連携例 (学生向け啓発活動)	70
・OISTの地域連携例 (環境保全)	73
・プレスリリースや記者会見等の開催にかかる取組	74
・監事及びCCOによる監査体制	75
・リスクマネジメント体制及び想定リスク	76
・男女比率	77
・女性参画状況	78

沖縄県民を対象としたOISTの認知度に関する調査(その1)

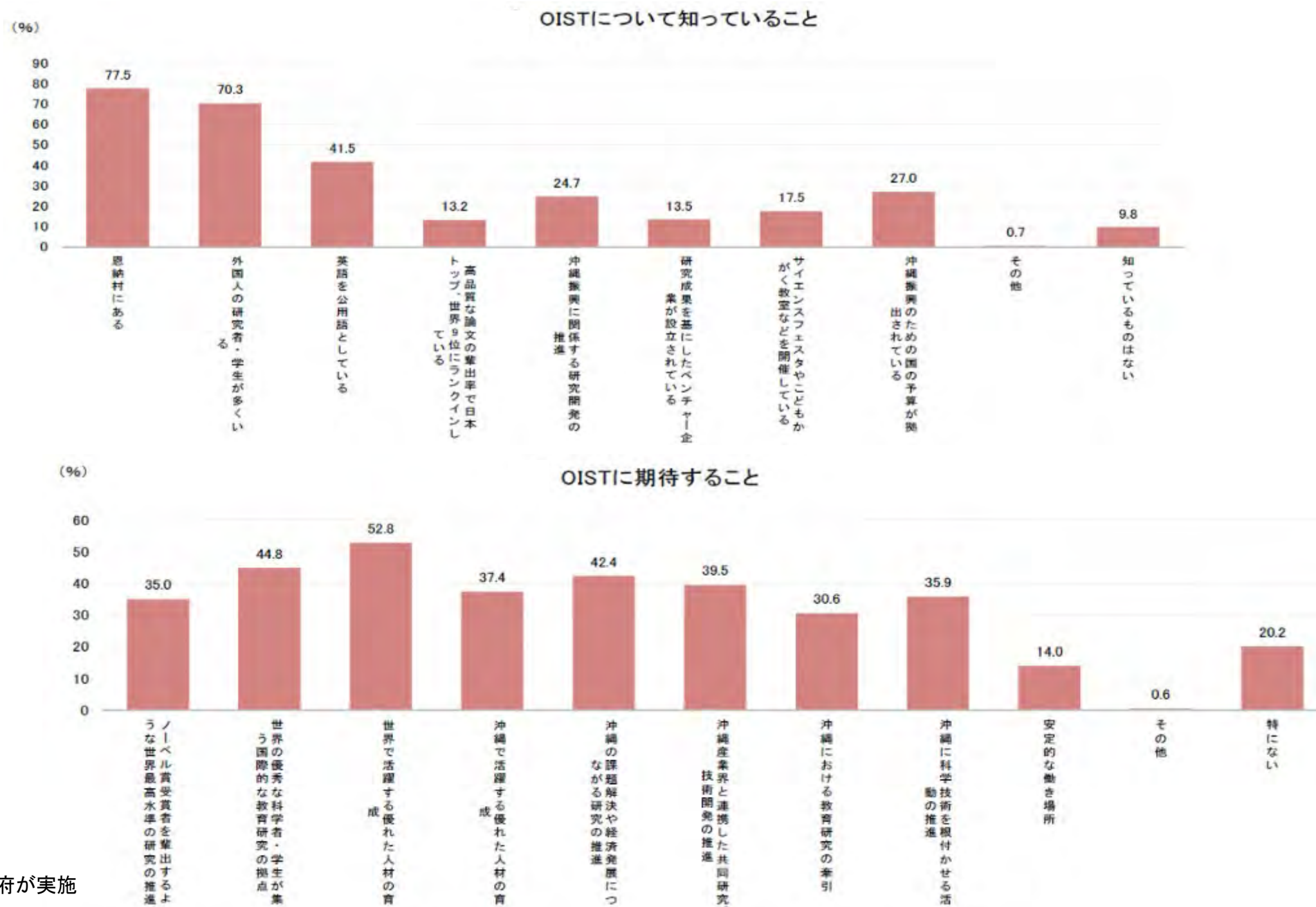
「沖縄科学技術大学院大学」について



OISTへのイメージ



沖縄県民を対象としたOISTの認知度に関する調査(その2)



※2020年12月に内閣府が実施

OISTの地域連携例（学生向け啓発活動）(その1)

1. OIST研究員による出前授業・講演

- ・OISTの教員や研究者が沖縄県内の生徒を対象に、研究紹介や科学者の日常等について出前授業を実施。
- ・子供たちに科学の面白さを知ってもらうとともにOISTの理解を深めってもらう。

＜実績＞ 5回実施（平成30年度）。



2. サイエンスプロジェクトfor琉球ガールズ

- ・県内女子中高校生を対象に、OISTと琉球大学の女性研究者・学生が講師となり、最先端の科学講義や実験を実施。
- ・講師が理系分野専攻をどのように決めたのかといった研究への興味や研究の楽しさ、大卒後の進路などの相談も実施。

＜実績＞ 平成26年度から不定期で実施。
平成31年3月に8回目を実施。

＜対象＞ 県内女子中高生



3. 起業プランコンテスト「SCORE:サイエンスin沖縄」

- ・沖縄県の英語教育を支援することを目的に、県内高校生による起業に向けた研究企画を競う科学競技を毎年1回実施。
 - ・OISTの国際性を活用しつつ、体験型理科教育、起業家精神の育成を行う。
 - ・令和2年度で9回目の実施。
令和2年度は、県内の高校等6チームが参加。
- ＜賞品＞ OISTでのインターンシップ・米国研修旅行
＜優勝＞ 沖縄県立球陽高等学校（令和2年度）
「アフリカマイマイの移動方法を活かした悪路運搬システムの開発」



OISTの地域連携例（学生向け啓発活動）（その2）

4. OISTオープンキャンパス(サイエンスフェスタ)

- ・OISTの教職員、学生が参加し、一般の人々に科学の世界を探求してもらうイベント。
- ・体験型科学プログラムや実験デモ、講演や研究施設ツアー等のイベントを実施。

<実績> 令和元年度で10回目の実施。

令和元年度は5,200名が参加。

※令和2年度はYoutubeにてオンライン開催

<対象> 一般（小学生から高校生をメイン対象）



5. 生徒向けOIST見学プログラム

- ・学校単位（小学生から高校生）を対象に学生向けOIST見学プログラムを実施。
- ・科学技術への興味を引き出すことで、将来科学者を志す人材の発掘、育成につながることを目指す。

<実績> 平成30年度は73校から4,378名が参加（県外含む）。



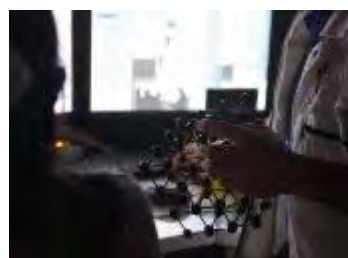
6. 琉球大学からのインターン学生の受入

- ・人事交流の一環として、琉球大学からのインターン学生8名を受入（平成30年度）。
- ・研究科オフィスが提供するリサーチ・インターン制度と研究ユニット予算で招聘するインターンの取り決めと組み合わせにより、合計120名のリサーチ・インターン（内日本人27名、内琉大から6名）を受け入れ（平成30年度）。

OISTの地域連携例 (学生向け啓発活動)(その3)

7. サイエンスチャレンジ 博士課程体験キャンプ

- 全国の大学院の進学を目指す学生向けに、最先端の研究を行うOIST教員による教育・研究体験ワークショップを開催。
 - 平成31年 3月に5回目を開催。
 - 平成30年度は、日本、コロンビア、エジプト、インドネシア、メキシコ、米国から31名の学生が参加。
(最優秀賞1名他、特別賞を授与。)
- ※令和2年度は新型コロナウイルス情勢のため中止



8. こどもかがく教室

- 毎年夏休みにOIST研究員やスタッフ、恩納村の教職員や保護者等のボランティアが連携して、幼児から中学生を対象に科学実験教室を開催。
- 令和元年度で10回目の開催(約120名参加)。

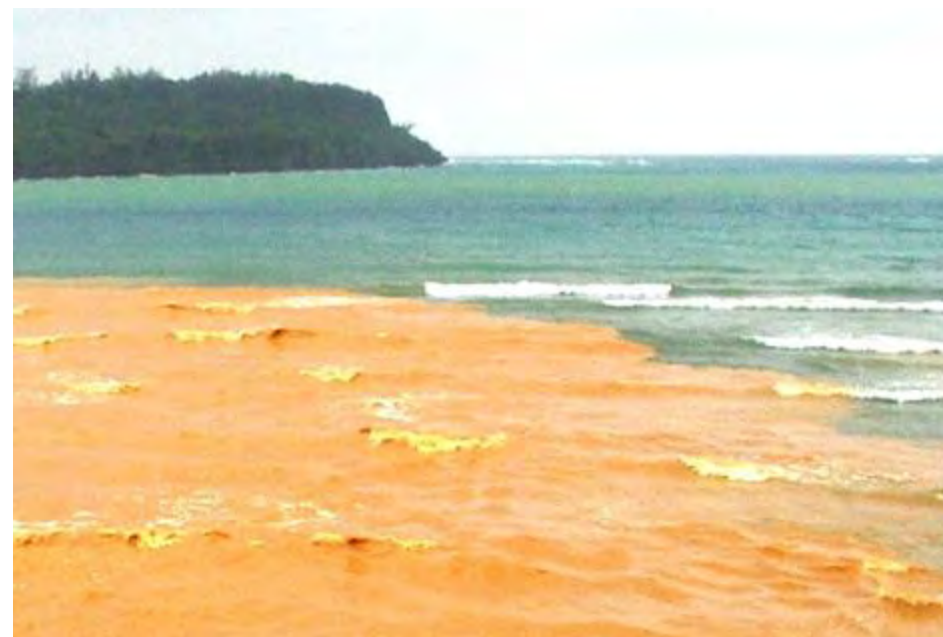


OISTの地域連携例（環境保全）

恩納村との共同プロジェクト(例)

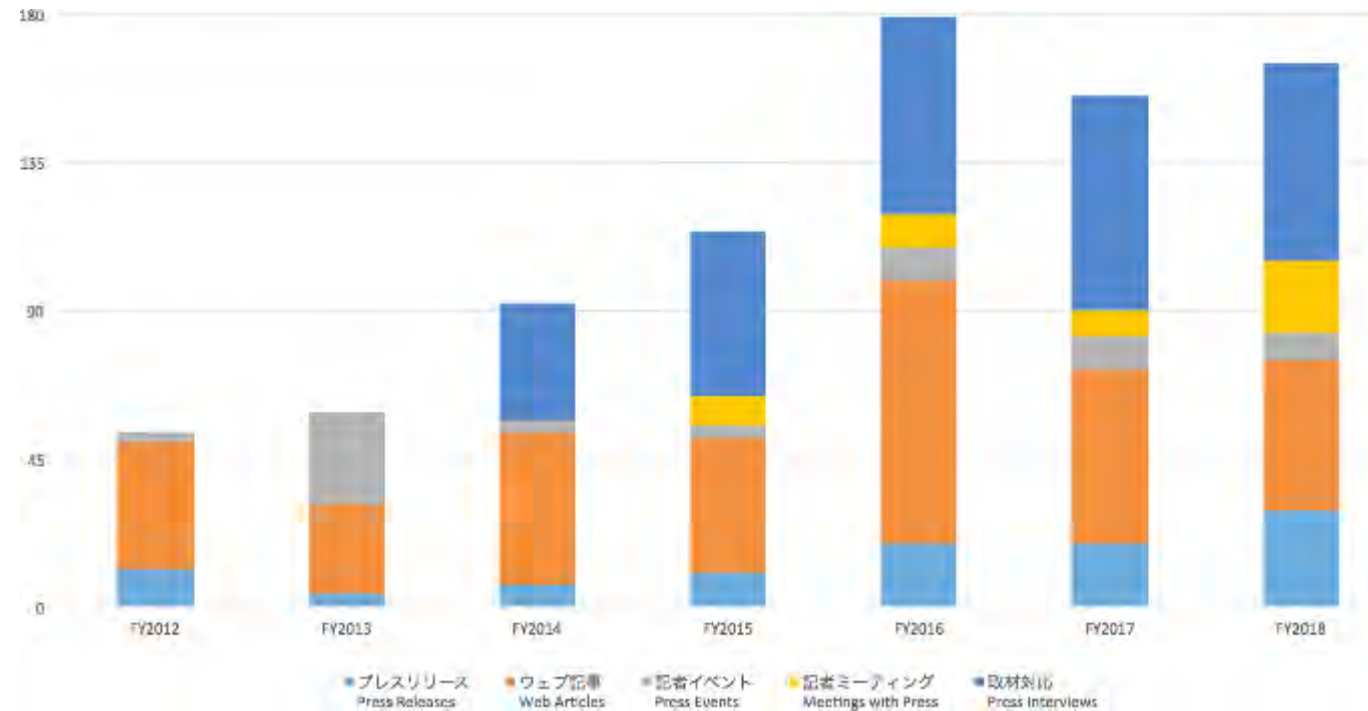


・恩納村役場、養蜂家との共同プロジェクトでは赤土流出防止対策とミツバチ研究に同時に取り組む。写真は、ミツバチで沖縄のサンゴ礁を守るOISTと恩納村の共同プロジェクトのイメージイラスト。

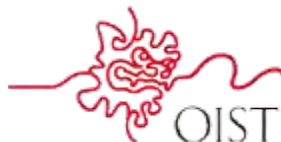


・流出した赤土が海岸線に達すると、沖縄の海は無残な赤色に染まり、サンゴの白化現象を引き起こす要因のひとつとなる。恩納村では赤土の浸食を最小限に食い止め、海への流入を軽減するための新たな方法を模索していた。

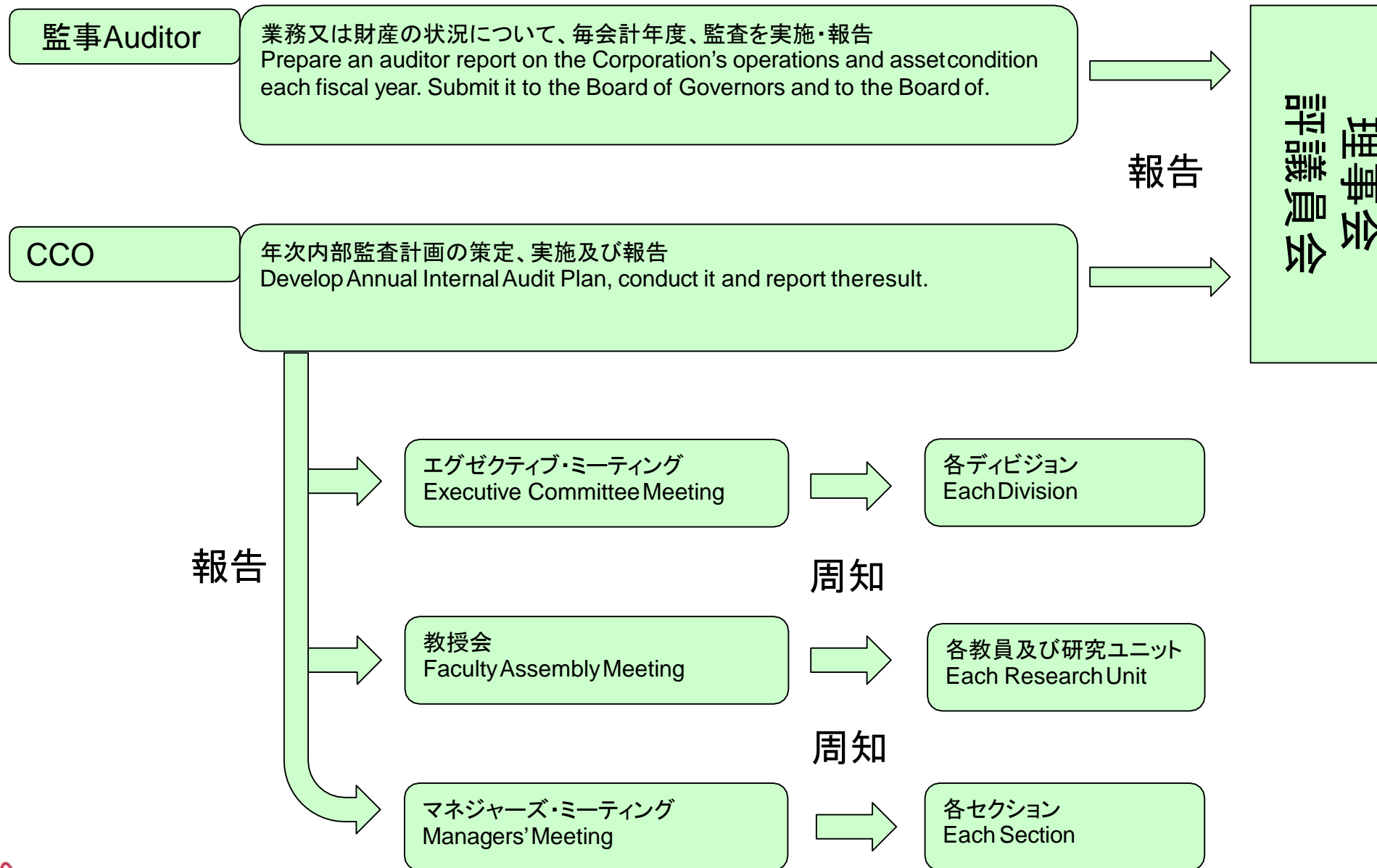
プレスリリースや記者会見等の開催にかかる取組



	FY2012	FY2013	FY2014	FY2015	FY2016	FY2017	FY2018
プレスリリース Press Releases	11	4	7	10	19	19	29
ウェブ記事 Web Articles	39	27	46	41	80	53	46
記者イベント Press Events	3	28	4	4	10	10	8
記者ミーティング Meetings with Press	Data unavailable			9	10	8	22
取材対応 Press Interviews	Data unavailable		35	50	60	65	60



監事及びCCOによる監査体制



リスクマネジメント体制及び想定リスク

リスクマネジメント委員会 Risk Management Committee

メンバー Member

1. 学長 President
2. 首席副学長 Executive Vice-President
3. プロボスト Provost
4. チーフ・オペレーティング・オフィサー Chief Operating Officer
5. ディーン (研究科長、教員担当学監、研究担当) Dean of Graduate School, Dean of Faculty Affairs, Dean of Research
6. 副学長(情報技術担当、財務担当、男女共同参画・人事担当、施設管理担当、広報担当、大学コミュニティ支援担当) VP for Information Technology, VP for Financial Management, VP for Gender Equality & Human Resource Development, VP for Buildings and Facilities Management, VP for Communication & Public Relations, VP for University Community Services
7. 統括弁護士 General Counsel
8. 緊急対応コーディネーター Emergency Response Coordinator
9. その他学長が指名する者 any other person that is appointed by the President

責務 Responsibility

1. リスクに関する情報の収集及び分析
Collection and analysis of information pertaining to the Risks
2. リスクに関する対策の検討、立案及び実施
Examination, planning, and implementation of measures pertaining to the Risks
3. リスク及びその対策や対応に関する情報の学生及び教職員への提供
Provision of information concerning the Risks as well as measures against and handling of the Risks to the students, faculty and staff members
4. リスクに関する他の部門、委員会等との連携
Coordination with other Division/Office, Committee, etc. in regard to the Risks
5. その他リスク対策に関して必要な事項
Any other matters that are necessary for the Risk Measures

想定リスク25/Possible risks 25

- 1 サーバーの損傷(火災、洪水、または冷却障害)
Damage of Server (fire, flood or cooling failure)
- 2 地震/津波 Earthquake/tsunamis
- 3 パンデミック(新型インフルエンザ感染症) Pandemic (New type of influenza infections)
- 4 インターネット接続の喪失 Loss of Internet connectivity
- 5 補助金等に係る予算の執行の規制に関する法律からの逸脱
Deviation from the Act on Regulation of Execution of Budget Pertaining to Subsidies, etc.
- 6 海難事故 Accidents at sea
- 7 情報セキュリティ Information Security
- 8 ラボでの事故/シーサイドハウス Accidents at Lab/Seaside House
- 9 ガス漏れ Gas Leak
- 10 日本人学生の不採用 Failure to recruit Japanese students
- 11 学生の採用失敗 Failure of recruitment(students)
- 12 教育強化の失敗 Failure of educational enhancement
- 13 火災 Fire
- 14 職員の脆弱性/キーパーソンの損失 Staff vulnerability/loss of key person
- 15 不適切な会計処理と財務諸表の開示
Inappropriate accounting treatments and financial statements disclosure
- 16 内部規定の策定の失敗 Failure of internal rules development
- 17 募集の失敗(学生を除く人々) Failure of recruitment(except students)
- 18 労働時間管理の失敗 Failure of work hour management
- 19 ハラスメント管理の失敗 Failure of harassment control
- 20 特許/著作権侵害 Patent/Copyright infringement
- 21 人材開発の失敗 Failure of HR Development
- 22 垂直構造とタイムリーな反応の修正の失敗(セクショナリズム)
Failure of correcting vertical structure and timely response (Sectionalism)
- 23 学術的な不正行為 Academic misconduct
- 24 人事評価/昇進管理の失敗 Failure of personnel evaluation/promotion management
- 25 女子学生の不採用 Failure to recruit female students

7BCP(事業継続計画)

1. 地震(津波を含む) Earthquake/tsunamis
2. 新型インフルエンザ等 New type of influenza infections etc.
3. 火災 Fire
4. 巨大台風 Giant typhoon
5. 死傷事故 Casualty
6. 爆破予告 Explosion notice
7. 軍用機墜落事故 Military aircraft crash

理事会への報告 Report to the Board of Governors

男女比率

入学者の男女比率/ Gender ratio of admitted students

年度/AY	入学者 admitted students	男性 Male	女性 Feamale	男性比率 Male ratio	女性比率 Feamale ratio
2012	34	24	10	70.6%	29.4%
2013	20	15	5	75.0%	25.0%
2014	27	15	12	55.6%	44.4%
2015	24	17	7	70.8%	29.2%
2016	35	18	17	51.4%	48.6%
2017	37	24	13	64.9%	35.1%
2018	35	19	16	54.3%	45.7%
2019	46	28	18	60.9%	39.1%

教員の男女比率/Gendar ratio of Faculty

年度/FY	教員数 Number of faculty	男性 Male	女性 Feamale	男性比率 Male ratio	女性比率 Feamale ratio
2013	47	40	7	85.1%	14.9%
2014	50	42	8	84.0%	16.0%
2015	51	43	8	84.3%	15.7%
2016	59	44	15	74.6%	25.4%
2017	61	49	12	80.3%	19.7%
2018	58	45	13	77.6%	22.4%

教職員数と男女比率 (2019年9月現在) /

Number of employees and feamale ratio (as of September 2019)

	合計人数 Total number	女性比率 Feamale ration
教員 Faculty	74	18%
研究員 Research unit staff	440	42%
リサーチサポート Research support staff	87	41%
事務局 Administrative staff	332	64%
合計/Total	933	48%

女性参画状況

令和2年4月1日時点

	女性の割合
研究職員(全体)	20.7%
研究職員(常勤職員のみ)	15.6%

(参考) OISTにおける女性参画状況

	女性の割合
研究職員(全体)	42.2%
研究職員(常勤職員のみ)	41.7%